



らく びお 楽Bio通信

2023年
11・12月号

NS乳酸菌革命記

私はその用途によって、最適な乳酸菌群を考えています。そして、効能や安全性、発見の順番と生物性質の研究から「NS・XX」という名称をつけます。

代表的なものとしては、とくに人間の食べ物消化を助ける菌として、糖の分解に一番効果のある「NS9」、一番速くタンパクを分解する「NS8」、そして脂肪やコレステロールのコントロールに効果を発揮する「NS5」、さらに「NS10」「NS1」「NS12」など、それぞれ遺伝子や効能の解析をしてみました。

驚いたのは、乳酸菌を作用と効能によって区別すると、遺伝子の多様性より大きいことがわかりました。遺伝子で分類すると、似た菌あるいは同種の株と見られた菌でも、同じ働きをしない方が多いのです。

そこでわれわれの研究チームは、遺伝子で区別しても効能や生物学的な特性などが大幅に違うことから、混乱を招かないために、乳酸菌の学名ではなく、効能や生物学的な特性から「NS・XX」のように別の区分で名前を付けることにしました。

いまは乳酸菌ブームで、それぞれ星

の数ほど乳酸菌食品、乳酸菌サプリメント、乳酸菌飲料、乳酸菌化粧品、そのほかの製品が販売されています。どこも自分のところの製品が最高だといえますから、消費者としては、どれを信じてよいか迷います。

そういうときは、提供先がどんな哲学をもっているかで判断されるとよいと思います。派手な宣伝文句や口当たりの良い言葉に、惑わされてはいけません。私がNS乳酸菌について、なによりも大切にしているのはこの点です。「乳酸菌は身体によい作用をおよぼす」だから、当社の乳酸菌製品はよい」というのは不十分な説明です。よい作用をおよぼした乳酸菌と、当社の乳酸菌が全く同じものであるかどうかは消費者にはわかりません。効果効能をいうなら、その製品自体のことをいってほしい。乳酸菌については、すべてフィールドで実験し、データを記録し、自分の目でその効果を確かめなくてはならないのです。

腸内で乳酸菌が効果を発揮するということは、なによりもまず腸の消化吸収の促進に寄与しなければなりません。本書でもこれまで述べてきたとおり、乳酸菌がさまざまな病気に効果があることは広く認められています。

しかし、あくまで共生菌であることが前提です。死んだ菌や活性を失った菌では共生しているといえません。

NS乳酸菌は生菌が前提であり、なおかつ安全性を完璧に確保する。私はこの二つの理念をもって乳酸菌を培養します。

NS乳酸菌の研究の目的は、最初は動物の感染症を抑制するためでした。そこで、短時間で糖から有機酸になれる株を選ぶこととし、十数種類のファーマンタム菌から選別しました。その中で一番効果のある株は糖の消化能力が素晴らしく、「NS9」と命名しました。NS乳酸菌はすべて糖の分解にすぐれた働きをしますが、なかでもこの株の特徴は、すべての糖をいち早く徹底的に分解する能力にすぐれ、ほかの株ではおよばない力をもつことがわかりました。炎症やウイルス感染症には、この菌は重要な作用を發揮します。

次に考えたのは、タンパクの分解消化でした。数十種類の乳酸菌のタンパクの消化力を比べました。そのうち、ヘルベティクス菌類が一番速くタンパク消化が見られました。われわれはさらに、効果のあった十種類以上のヘルベティクス菌サブタイプをすべて比較して、タンパク消化が満点の「NS8」を抽出することができました。NS8株は、わずか数時間でタンパクを全部細かく分解して、短いアミノ酸をたくさんつくり出します。またヘルベティクス菌自身がつくった小さ

なRNAが動物の血流に流れると、ウイルスの感染や拡散の邪魔になると推論されます。これに加えて、NS8株はカルシウムやマグネシウムの吸収、そして骨の密度を高くする力もあります。血圧のバランスをとる機能はほかの乳酸菌にはなく、NS8株しかないものです。NS8株を電子顕微鏡で見ると、一番長いのは20ミクロンほどもあり、表面積も大きい。形状はマッチ棒のようなものです。ペーハー2.8くらいの強酸のなかでも生きています。つまり胃酸にもある程度、耐えられるのです。

雑食動物の工サの内容を考えると、糖とタンパクの消化を強化する必要があります。そこでNS9とNS8を混合したものを豚に食べさせました。驚いたのは、豚がこのミックスしたものを食べ始めてから、考えられないほどおとなしくなったことです。このことから、人間の精神不安やイライラなどにも同じ効果があるのではないかと仮定し、試してみました。結果はまったく同じでした。人間も動物も、有毒ガスであるアンモニアや硫化水素の生成を抑制すれば、体臭を抑え、精神状態がよくなり、糞便も出やすくなります。よい睡眠がとれて、さまざまな生理状況や精神状況の改善に寄与します。

→「NS乳酸菌が病気を防ぐ」より抜粋



お客様の声
ページ→

※個人の感想であり、効果効能を示すものではありません。

「大草原の乳酸菌」
お客様の声

豆乳に混ぜてヨーグルトを作り、1日に1回〜2回、はちみつやジャムをのせて食べています。食後、お風呂の時間に食べることも多いです。約3年豆乳ヨーグルトには食べています。便秘がなくなり、下痢の回数も減りました。おかげ様で痔の症状もなくなりました。

60代・女性・富山県在住

朝食・夕食の前に豆乳ヨーグルトには飲んでます。半年以上前から、小さい子供で豆乳ヨーグルトには飲んでます。飲み始めて、娘は便秘が改善され、息子もカゼをひきにくくなりました。私も便秘が良くなって、アトピーが改善されました。今は花粉症の季節ですが、アレルギー症状も重くないように思われます。

40代・女性・東京都在住

韓国のハワイとも言われる済州島のみかん・レッドビーツ・ニンジンなどを絞り、一滴の水も使わずにわずかな有機砂糖と酵母だけで天然発酵・熟成させた食酢です。



『済州島天然発酵飲むお酢ミニボトルセット』
(120ml×3本/定価 2,980円)

「済州島天然ハチミツスティック」は純度100%で、一切の添加物や人工甘味料を含んでいません。韓国のハワイとも言われる済州島の美しい自然が育んだ、極上の味わいをお楽しみください。



『済州島天然ハチミツスティック』
(10g×30包/定価 4,890円)

取扱製品のご案内

こちらから友だち追加
よろしくお願ひします。



「LINE公式アカウント」
こちらから商品・出荷・変更・質問などについて、LINEのメッセージでお問い合わせいただけます。応募者様全員対象で「友だち追加キャンペーン」実施中です。ぜひご応募ください。



「おとなの脳活100日ドリル vol.6」
(2023年12月号)
大草原の乳酸菌が掲載されました



「地域ケアリング」
(2023年12月号)
大草原の乳酸菌が掲載されました



「TVホスピタル」
(2023年10月号)
大草原の乳酸菌が掲載されました



「アレルギーの臨床」
(2023年10月号)
大草原の乳酸菌が掲載されました

メディア掲載

しゃがあの
日蒙文化交流支援

ラクアが支援している日蒙文化交流活動です。賛助会員を募集しております。



バンベンの
砂漠緑化支援

ラクアが支援しているモンゴル地方の植林活動です。



NS乳酸菌で持続可能な
社会的畜産・農業の推進

岐阜県高山市でNS乳酸菌を活用した特別な堆肥づくりが行われています。ラクアでは(株)Koagoが推進する持続可能な社会的畜産・農業を応援しています。



楽Bio通信

ラクアが発行するお客様資料「楽Bio通信」の過去の号が閲覧できます。



■ 電話でのご注文・お問い合わせ

フリーダイヤル
0120-098-529

※受付時間/9:00~21:00 (土日祝日も承ります)

■ ホームページでのご注文・お問い合わせ

大草原の乳酸菌 検索



ラクアリンク集